土呂久公害を学ぶ学習指導案の作成について

１　目的・概要

本県では、学校教育で土呂久公害を学ぶ機会を増やすため、小学５年生の社会科の授業で使用可能な、学習指導要領に準拠した学習指導案を作成いたしました。

作成に当たっては、先生方の負担軽減にもつながるよう、内容量（ページ数）を最低限とし、環境教育用ＤＶＤやワークシートを用いて、指導のしやすさに重点を置いております。

|  |
| --- |
| この学習指導案は、第５学年の公害についての学習において活用できるものです。  小学校学習指導要領(平成29年告示)解説社会編 第５学年の目標及び内容の(内容の取扱い)では、「公害の学習を行う際には、大気の汚染、水質の汚濁などの中から具体的事例を選択して取り上げること」とされています。  また、事例の選択に当たっては、一度破壊された環境を取り戻すためには長い時間と多くの人の努力や協力が必要であることに気付かせるとともに、自分たちには何ができるかなど、自分たちに協力できることを考えさせたり選択・判断させたりして、国土や環境保全への関心を高めることが大切です。  本教材は、本県で起こった土呂久公害の学習を通して、学習指導要領のねらいに、当事者意識をもって迫ることができる教材であると考えております。  （県教育委員会義務教育課） |

２　学習指導案の使い方

内容としては、四大公害と土呂久公害を１時数で学ぶ学習指導案（指導案①）を基本としておりますが、土呂久公害だけで複数時数を確保する学校にも御使用いただけるよう以下のイメージの構成としております。各学校、学級の進度等にあわせて御使用ください。

・１時数の場合：指導案①

・２時数の場合：指導案①＋②or③or④

・３時数の場合：指導案①＋②or③＋④

・４時数の場合：指導案①＋②＋③＋④

　※　ワークシート（ヒントカード）は２種類ありますので、習熟度に合わせて御利用ください。

３　参考

作成に当たっては、現在も土呂久地区での活動を行っている特定非営利活動法人アジア砒素ネットワーク及び宮崎国際大学、土呂久公害の授業を行っている小学校の指導教諭（スーパーティーチャー）並びに県教育委員会義務教育課の先生方の意見を踏まえたものであることを申し添えます。

|  |
| --- |
| ○単元名　環境とわたしたちのくらし（日本文教）  環境を守るわたしたち（東京書籍）  （学習指導要領２－(5)ーア－(ｳ)・２－(5)ーイ－(ｳ)） |

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明テキスト

中程度の精度で自動的に生成された説明※　この単元を学ぶことは，国連が定める持続可能な開発目標（SDGs）の17のゴールのうちの「３すべての人に健康と福祉を」，「15陸の豊かさも守ろう」を学ぶことにつながります。

* 持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは，2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として，2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された，2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され，地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず，先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり，日本としても積極的に取り組んでいます。（外務省ＨＰより）